



2019年8月6日

各 位

会 社 名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 杉山喜久雄
(コード：3947 東証・名証第2部)
問合せ先 取締役常務執行役員 草野 雅夫
経営企画本部長
(電話番号 052-971-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月6日に公表しました2019年12月期(2019年1月1日～2019年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正
(2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する四半 期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	27,500	△400	△160	△240	△24円27銭
今回修正予想(B)	26,800	△65	200	10	1円03銭
増減額(B-A)	△700	335	360	250	—
増減率(%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	25,182	△258	△33	137	13円90銭

2019年12月期通期連結業績予想数値の修正
(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	57,600	400	710	480	48円55銭
今回修正予想(B)	56,000	400	710	480	48円55銭
増減額(B-A)	△1,600	—	—	—	—
増減率(%)	△2.8	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	53,085	△473	△115	△857	△86円77銭

修正の理由

(2019年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想)

売上高につきましては、GRAND FORTUNE CORPORATION SDN.BHD.の子会社化により、同社の第2四半期累計期間分（6か月分）の売上高を連結業績予想に織り込んでおりましたが、子会社化の時期がずれ込んだことにより、連結業績に計上する売上高が第2四半期会計期間分（3か月分）となり、業績予想を下回りました。

営業利益につきましては、昨年11月の原材料価格の再値上がりを受け、販売価格改定を進めてまいりましたが、当初の想定よりも価格改定を順調に遂行できたことにより、業績予想を上回りました。

経常利益につきましては営業利益の増加を受けたものであります。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加の影響を受けた一方で、政策保有株式の一部に時価の下落が生じ、投資有価証券評価損（特別損失）を計上したことなどによる影響も受けました。

(2019年12月期通期の連結業績予想)

売上高につきましては海外子会社を中心に下期の販売が伸び悩むことが想定されることから、業績予想を修正いたします。

なお、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、海外子会社の売上高の減少要因に加え、第3四半期以降の国内外の経済情勢に不透明感もあり、当社業績への影響も現時点では計りかねることから2019年2月6日発表の通期連結業績予想を据え置くことといたしました。

ご注意：本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上